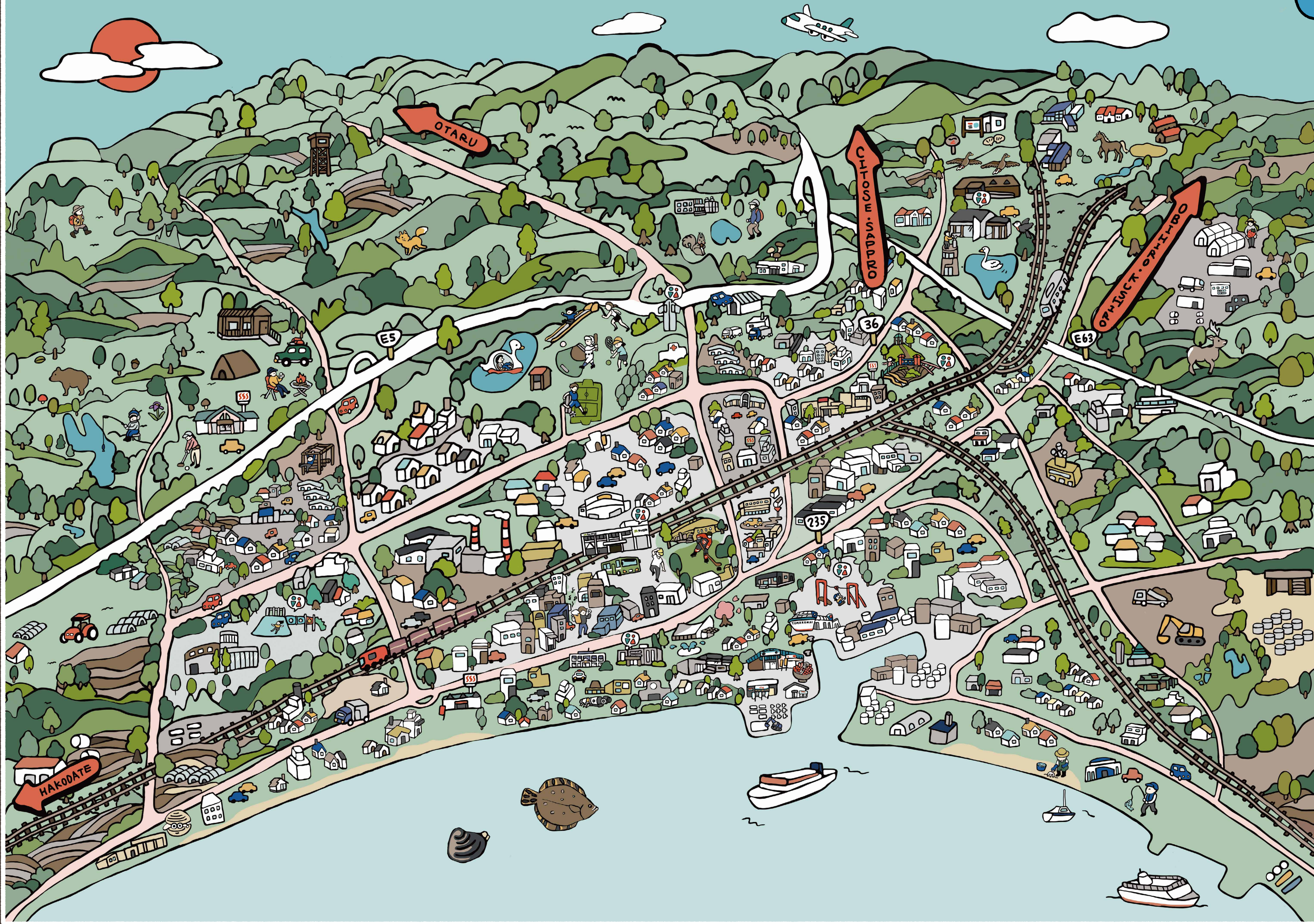


TOMAKOMAI TOWN MAP

Illustrated by アトリエ なちこ



とまこまいの歴史

江戸

明治

大正

昭和

平成

令和

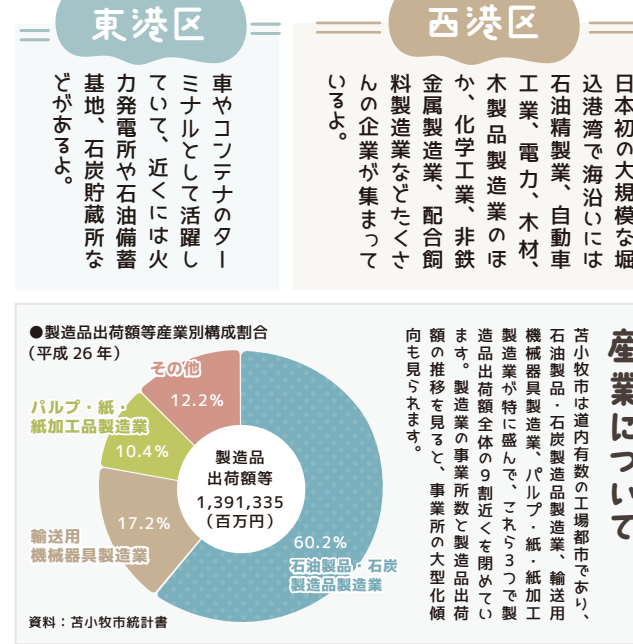
- 寛政11年(1799) 勇弘に会所を置く
- 寛政12年(1800) 八王子千人同心、原新介ら勇弘(鵜川)に移住する
- 明治2年(1869) 蝦夷地を北海道と改め、当地方は、胆振国勇弘郡となる
- 明治3年(1870) 高知藩70余名を勇弘、千歳に派遣、分領支配と開拓を始める
- 明治6年(1873) 勇弘郡開拓使出張所を苫細(苫小牧)に移転
- 明治7年(1874) 苫細を苫小牧と改名
- 明治13年(1880) 勇弘外5都府所(勇弘・白老・千歳・沙流・新冠・静内)を苫小牧村に設置
- 明治22年(1889) 苫小牧村に、苫小牧外15ヶ村戸長役場を設ける
- 明治25年(1892) 国鉄室蘭本線が開通苫小牧駅開業する
- 明治35年(1902) 2級町村制を施行し樽前村、覚生村、錦多峰村、小糸魚村、苫小牧村、勇弘村、樽前山大火火
- 明治42年(1909) 王子製紙株式会社 苫小牧工場が操業開始
- 明治43年(1910) 王子製紙株式会社 苫小牧工場が操業開始
- 大正7年(1918) 2級町村制のまま町制施行
- 大正8年(1919) 1級町村制を施行
- 大正10年(1921) 苫小牧大火。市街地の約3分の1にあたる1,007戸を消失
- 昭和16年(1941) 第11回明治神宮国民体育大会冬季大会スケート大会開く
- 昭和18年(1943) 大日本再生製紙(現日本製紙) 勇弘工場操業開始
- 昭和21年(1946) 苫小牧町立病院開設
- 昭和23年(1948) 人口33,000人
- 昭和25年(1950) 市広報紙刊行/上水道布設工事開始/市営バス運行開始/第1回観光まつり(港まつりの前身)開催
- 昭和26年(1951) 苫小牧工業港起工式
- 昭和27年(1952) 下水道工事着手/市教育委員会発足/市庁舎新築
- 昭和38年(1963) 苫小牧港に第1船入港
- 昭和40年(1965) 苫小牧港管理組合発足/苫小牧短期大学開校
- 昭和41年(1966) 苫小牧市スポーツ都市宣言/苫小牧港外国貿易港に指定
- 昭和42年(1967) 開拓使三角送料勇弘基点
- 昭和44年(1969) 人口10万人達成
- 昭和47年(1972) フェリー第一船入港
- 昭和48年(1973) 「植苗良塚」の発見
- 昭和51年(1976) 市制施行25周年/人間環境都市宣言/出光興産株式会社北海道精油所操業開始/八王子市と姉妹都市提携/市の木として「ナナカマド」を制定
- 昭和53年(1978) 苫小牧東港埋地着工
- 昭和54年(1979) ニューランド・ネピア港と姉妹港提携/駅前バスターミナル開設
- 昭和55年(1980) 文化会館開設
- 昭和56年(1981) 苫小牧東港入船式一部供用開始/ネピア市と姉妹都市提携/人口15万人達成
- 昭和57年(1982) 苫小牧港が特定重要港湾に昇格/ウトナイ湖サンクチュアリ指定/苫小牧の国家石油備蓄基地着工
- 昭和58年(1983) いすゞ自動車北海道工場が苫小牧工業基地D地区で建設着工/日光市と姉妹都市提携/新苫小牧駅完成
- 昭和59年(1984) 市庁舎完成
- 昭和60年(1985) いすゞ自動車株式会社北海道工場操業開始/国家石油備蓄基地にオイルイン開始
- 昭和61年(1986) 市民憲章制定/中国・秦皇岛港と友好港湾提携/博物館開館
- 昭和62年(1987) 市の木の花に「ハスカップ」、草の花に「ハナショウブ」を決定
- 昭和63年(1988) 暴力追放宣言
- 昭和64年(1989) 「静川遺跡」の発見

- 平成元年(1989) 人口16万人達成/外国貿易船入港1万隻達成
- 平成2年(1990) 市の鳥として「ハクチョウ」を制定
- 平成3年(1991) ウトナイ湖と周辺510haがラムサール条約登録湿地となる/苫小牧観光協会が社団法人化
- 平成4年(1992) 苫小牧港が動物検疫所に指定/フェリー旅客1千万人を突破、就航20年めにして達成/オートキャンプ場「アルデン」が樽前にオープン/環境庁が「全国一きれいな川」に苫小牧川、錦多峰川を選定
- 平成5年(1993) 千歳・苫小牧地方3市4町が地方拠点都市に指定される/トヨタ自動車北海道株式会社竣工
- 平成6年(1994) アイスアリーナ建設着工/天然ガスパイプライン起工式
- 平成7年(1995) 人口17万人達成/スポーツマスター制度実施
- 平成8年(1996) 白鳥アリーナ完成
- 平成9年(1997) 苫小牧駒澤大学着工/入船国際コンテナターミナル完成
- 平成10年(1998) 市制施行50周年記念式典開催/中国秦皇島市と友好都市提携/苫小牧駒澤大学開学(現在は北洋大学)/緑ヶ丘公園展望台オープン
- 平成11年(1999) 沼ノ端クリーンセンター・リサイクルプラザ苫小牧オープン/沼ノ端児童センターオープン/東港に日本海航路のフェリー就航/モーラップ樽前荘オープン/錦多沼公園と温湯施設「ゆのみ湯」オープン/宇宙ステーション・ミール展示館オープン/ランドホテルニュー王子がオープン
- 平成12年(2000) 沼ノ端スケートセンターオープン/市営バス開業50周年
- 平成13年(2001) 勇武津資料館オープン/樽前交流センターオープン/中央図書館開館50周年/苫小牧市民文化芸術振興条例制定
- 平成14年(2002) 苫小牧市福祉のまちづくり条例制定/苫小牧市非核平和都市条例制定/勇弘マリナーオープン/市の貝として「ホッキ貝」を制定/ウトナイ湖野生鳥獣保護センターオープン/ISO14001の承認を取得
- 平成15年(2003) 出光石油タンク火災/のぞみコミュニティセンターオープン
- 平成16年(2004) 駒大苫小牧高校全国高校野球選手権大会初優勝(86回大会)
- 平成17年(2005) 駒大苫小牧高校全国高校野球選手権大会2連覇(87回大会)
- 平成18年(2006) 〜氷上の甲子園〜全国高等学校選抜アイスホッケー大会開催/駒大苫小牧高校全国高校野球選手権大会準優勝/新苫小牧市立病院が開院
- 平成19年(2007) 全国植樹祭開催
- 平成20年(2008) レジ袋有料化協定締結
- 平成21年(2009) 道の駅「ウトナイ湖」オープン
- 平成22年(2010) 王子製紙株式会社苫小牧工場操業100周年
- 平成25年(2013) 苫小牧港開港50周年/家庭ごみ有料化開始/美術館オープン/男女平等参画都市宣言/アイスホッケー女子、最終予選(苫小牧より11人が参加)で1位となりソチ五輪出場決定

- 平成26年(2014) 新とまかわスケートセンターオープン/CO-COTOMAオープン
- 平成27年(2015) 東胆振市4町による定住自立圏形成協定の締結
- 平成28年(2016) スポーツ都市宣言50周年/苫小牧市消防庁が新消防署に移転、高機能消防指令センター本格稼働
- 平成29年(2017) 苫小牧市手話言語条例制定/日本女性会議2017とまこまい開催
- 平成30年(2018) 市制施行70周年/八戸市と交流連携協定「はちとまネットワーク」締結/沼ノ端交流センターオープン

- 令和元年(2019) ウトナイ交流センター展望施設オープン/「とまチョップ水」モントセレクション2019金賞受賞/苫小牧市受動喫煙防止条例制定
- 令和2年(2020) 「機動警察パトレイバー」トークショーの開催
- 令和3年(2021) 苫小牧市手話言語条例制定/北海道苫小牧支援学校開設/全国育樹祭開催
- 令和4年(2022) 第2学校給食共同調理場開設

苫小牧の役割



苫小牧はどんなところ？



アクセス最強の街 とまこまい